

\*\*\*\*\*  
第 17 回 町田市交通マスタープラン推進委員会 会議録  
\*\*\*\*\*

開催日時：2015 年 3 月 19 日（木）10 時 00 分～12 時 00 分

開催場所：町田市庁舎 3 階 3-1 会議室  
\*\*\*\*\*

出席委員：（敬称略、順不同）

兵藤哲朗、能勢和彦（代理：渡辺）、関根肇（代理：小川）、望月裕、岡村夏樹、  
上田敬生、織茂宏彰（代理：阿部）、志賀英介（代理：奥）、永山輝彦、岡村淳、  
田崎達久（代理：佐々木）、樋口孝治、山崎龍男、藤井洋介、石井幸隆、伊藤正巳、  
安藤信哉、佐藤勲、鎮目義雄（代理：松香）、遠藤美津子

傍聴人：0 名

事務局：沖哲郎都市づくり部長、野田好章交通事業推進課長、鈴木稔係長、  
岩岡哲男係長、栗山千咲主任、斉藤幸一主事、  
佐々木真人主事、坂田典久主事、若林裕子主事  
\*\*\*\*\*

【会議次第】

1. 開会挨拶
  2. 議題
- \*\*\*\*\*

【議題】

- （1）玉川学園コミュニティバス「玉ちゃんバス」南ルートを進捗状況について
  - （2）多摩都市モノレール・小田急多摩線の延伸に向けた取り組み状況について
  - （3）路線バス新規導入実証実験運行事業の概要と利用状況について
  - （4）「町田市役所市民ホール前」バス停に停車する一部系統の経路変更について
  - （5）ノンステップバスの導入について
  - （6）バス運行情報案内表示機の導入について
  - （7）町田市内における交通空白地区の解消手法について
- \*\*\*\*\*

<開会挨拶>

省略

<資料確認>

省略

<議事>

1. 玉川学園コミュニティバス「玉ちゃんバス」南ルートを進捗状況について

[資料説明]

玉川学園コミュニティバス「玉ちゃんバス」南ルートを進捗状況について：資料 1  
事務局による説明（省略）

[意見等]

(委員長) 走行環境整備工事とはどこで行われるのか。

(事務局) 資料2ページの図でいうと、バス停の⑤から⑧の区間で、道路舗装やバス停の設置等の工事を予定している。

## 2. 多摩都市モノレール・小田急多摩線の延伸に向けた取り組み状況について

[資料説明]

多摩都市モノレール・小田急多摩線の延伸に向けた取り組み状況について：資料2-1、資料2-2、資料2-3

事務局による説明（省略）

[意見等]

(委員長) 来年、国が主体となって作成している鉄道ネットワークのマスタープランができる。その中で、プロジェクトに順位がつくのだが、それを高めるために事業者や自治体は活動を始めている。本件は、その中の二つの路線のプロジェクトという位置付けである。

(A 委員) 4ページの小田急多摩線の延伸に向けて、バス路線網の再編等の検討調査が実施されたということだが、多摩都市モノレールの延伸についても同様に大きな影響があると思われる。合わせてこちらもご検討いただきたいと思う。

(委員長) 検討調査を実施したということだが、レポートは存在するのか。

(事務局) 報告書はあるが、公表する予定はない。

(委員長) 鉄道とバス路線網は常にセットで検討すべき課題である。慎重に進めてほしい。

(B 委員) 東京都や国への要望活動の感触はどうか。いつごろにどうなるのかという情報はつかめているのか。

(事務局) 両方の鉄道についても、現在の段階では東京都も事業者もコメントを出せる立場ではない。しかし、町田市としての要望や情報は随時伝えている状況である。

(委員長) 確実なことは1年くらいたたないと見えてこない。油断できない状況である。

(C 委員) 東京都の中間まとめは、町田市との調整の結果なのか。

(事務局) 中間まとめであり、どこの市とも調整はしていないようだ。今後も注視していきたい。

(委員長) 来年の今頃のよい結果を期待している。

## 3. 路線バス新規導入実証実験運行事業の概要と利用状況について

[資料説明]

路線バス新規導入実証実験運行事業の概要と利用状況について：資料3-1、資料3-2  
事務局による説明（省略）

[意見等]

(B 委員) 鶴川団地の住民は金井入口や鶴川駅に行くのが困難だそうだ。なぜそのあたりを回らなかったのか。

(事務局) ルートについては、鶴川地区方面から町田市民病院に行くこと、木曽団地周辺の交通空白地区を解消することの2点から設定した。いただいた意見は今後の検討課題

としたい。

(事務局) 鶴川団地から鶴川駅には多くの既存路線が運行していること、また鶴川駅東口の渋滞が問題となっていることから、今回の実証運行の路線には含めなかった。団地の高齢化等の対応については、今後バス事業者さんとの検討課題としたい。

(A 委員) 今回の運行の主眼は、鶴川駅から直接市民病院に行くことである。主な利用客は、木曾地区からが多いことから、採算性の面からは厳しいと言える。

(B 委員) 乗り継ぎする場合、乗り継ぎ料金はどう設定するのか。木曾地区は、路線が多くあり、鶴川地区は少ないという意見もある。

(A 委員) 基本的に乗り継ぎは2回料金をいただいている。市外ではあるが場所によっては路線網を再編するなかで IC カードを利用して割引制度を始めている。

(B 委員) 南地区から市民病院に行く場合、乗り継ぎをしなければならず、市民から見たら合理的ではない。市民も事業者もお互いが納得いく形で設定してほしい。

#### 4. 「町田市役所市民ホール前」バス停に停車する一部系統の経路変更について

##### [資料説明]

「町田市役所市民ホール前」バス停に停車する一部系統の経路変更について：資料 4

事務局による説明（省略）

A 委員による説明（省略）

##### [意見等]

(委員長) 道路の拡幅などネットワーク状況の変化も経路変更の一因である。ルートからはずれたバス停についてクレームはなかったのか。

(A 委員) 一部あったときいている。

#### 5. ノンステップバスの導入について

##### [資料説明]

町田市ノンステップバスの導入について：資料 5-1

地域公共交通確保維持改善事業：資料 5-2

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価：資料 5-3

平成 25 年度 地域公共交通確保維持改善事業：資料 5-4

生活交通改善事業計画：資料 5-5

事務局による説明（省略）

##### [意見等]

(委員長) 連続して毎年三台ずつ導入している。7、8 ページについては、実は当委員会の審議事項であったが、順調に推移しているということで、事後報告として了承いただきたい。9、10 ページの計画については審議事項であるが、意見はあるか。

(A 委員) 大和営業所、津久井営業所から出る路線については、以前ノンステップバスが少ない状況である。現在は、当社としても大和営業所にノンステップバスの導入を進めている。ぜひ計画の承認をお願いしたい。

(委員一同) 意見なし

(委員長) 承認とする。

## 6. バス運行情報案内表示機の導入について

### [資料説明]

バス運行情報案内機の運用を開始しました：資料6-1

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価：資料6-2

平成25年度 地域公共交通確保維持改善事業：資料6-3

地域公共交通確保維持改善事業に関する事業評価について：資料6-4

バス運行情報案内表示機（）：資料6-5

事務局による説明（省略）

A委員による説明（省略）

### [意見等]

(委員長) 利用者からの評判はどうか。

(A委員) 今年度は町田ターミナルにも設置し、全部で4基設置した。表示機の下の部分に、昨年度は主な公共施設への行き方など表示したが、今年は発車するバスの主な系統図を掲載した。どちらが評判がよいか見極めていきたい。

## 7. 町田市内における交通空白地区の解消手法について

### [資料説明]

町田市内における交通空白地区の解消手法について：資料7

事務局による説明（省略）

### [意見等]

(B委員) 交通空白地区について機械的に抽出しているのでは、実態が把握できないのではないか。対象となる地域にはアンケートをとったらどうだろうか。そうすれば、必要性が判断できるのではないか。

(事務局) 交通空白地区については、便利なバス計画の中で距離で定義しているが、そのすべてを一律に解消しようとしているのではない。地元の気運が高まった地区について、まず検討を進める。その中で、地元と協力して、詳細なアンケートを実施し、意見の把握に活用する。

(委員長) まずは既存の情報を参考に進め、次のステップでアンケートを地元に対して実施するという流れということである。

(D委員) 鉄道駅300m圏、バス停250m圏を交通空白地区の距離設定とするのは少し短いのではないか。また交通空白地区の取り方はもっと大きいほうがよいと思われる。また、アンケートは偏る傾向がある。行政は必要に応じてやるというスタンスでよいのではないか。

(事務局) 距離については、鉄道駅は、高齢者の平均歩行速度60m/分で5分歩いた300mとし、バス停は坂など歩きにくいところを考慮し、250mに緩和している。

(委員長) なるべく交通空白地区がしやすい距離設定としていることを理解していただきたい。

(E委員(代理:F)) デマンド交通システムの話が出ていたが、その場合は地域公共交通会議をとおしていただきたい。現在のこの委員会は労働組合がないため、要件を満

たしていないと思われるが、本委員会を地域公共交通会議として位置付けることは考えているか。

(事務局) 労働組合については、**BRT** さんに出席をしていただいているので、地域公共交通会議の構成員はほぼ満たしているのではないかと考える。当会議は交通マスタープランを推進する会議であり、地域公共交通会議は主旨が異なる。そのため現在あり方を検討しているところである。また、デマンド交通や乗り合いタクシーについては、道路事情や需要バランスの検討が必要となることから、次年度モデルケースを設定して研究していきたい。

以上